
流星のロックマンエグゼ

天空 翼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

流星のロックマンエグゼ

【Nコード】

N9457Z

【作者名】

天空 翼

【あらすじ】

ある日、熱斗は自分とそっくりな少年と出会う。そのころ、炎山やライカも同じように自分そっくりの少年に出会っていた…。流星のロックマンとロックマンエグゼのクロスオーバー小説です。

プロローグ

『熱斗君、起きて熱斗君!』

「うう〜ん、後5分〜」

この少年、光熱斗。相棒のネットナビ、ロックマンとともに世界を救った英雄でもある。のだが…

『ハア、すうううううう……起きろおおお光熱斗おおおおお
お!…!』

「うわあ!?!」

現在は普通の中学1年生になる少年である。

「え?ええ?」

『熱斗君、今日入学式だよ!』

「あああ!?!遅刻だあああ!?!」

熱斗は急いで家を飛び出す。

いつものスケートで登校する。

いつもいる幼馴染のメールはもう行ってしまったようだ。

「完つ全に遅刻だあああ!?!」

『まったく、何度も起こしてるのに…って、熱斗君!前!』

「え？うわあ！！」

ロックマンの言葉に熱斗が前を向くと茶髪の少年が前を歩いていた。

「え？」

ドンッ！

「「うわあ！」「

2人は互いにぶつかり尻餅をつく。

「いつてえ……」

「「ゴメンなさい！」

『怪我はないですか！？』

熱斗はその少年に手を差し伸べると同時に驚く。

「え…俺…？」

「あ、うん大丈夫！じゃあね！」

走り去っていく少年はバンダナをはずした熱斗にそっくりだったのだから…

「あいつ…」

キーンコーンカーンコーン

「…あ…ち、ち、ち、遅刻だあああああ！…！！！」

熱斗は我に返り猛スピードで学校へと向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9457z/>

流星のロックマンエグゼ

2011年12月29日16時47分発行